

2024年8月1日付 IoT with セキュリティビジネスグループ の組織変更について

この度、会社側より「2024年8月1日付 IoT with セキュリティビジネスグループの組織変更について」の申し入れを受けました。諮問内容および現時点でのヌヴォンテクノロジージャパン労働組合（以下、NTJ労組）のスタンスを報告します。

～ 申し入れの要旨 ～

1. 背景および主旨

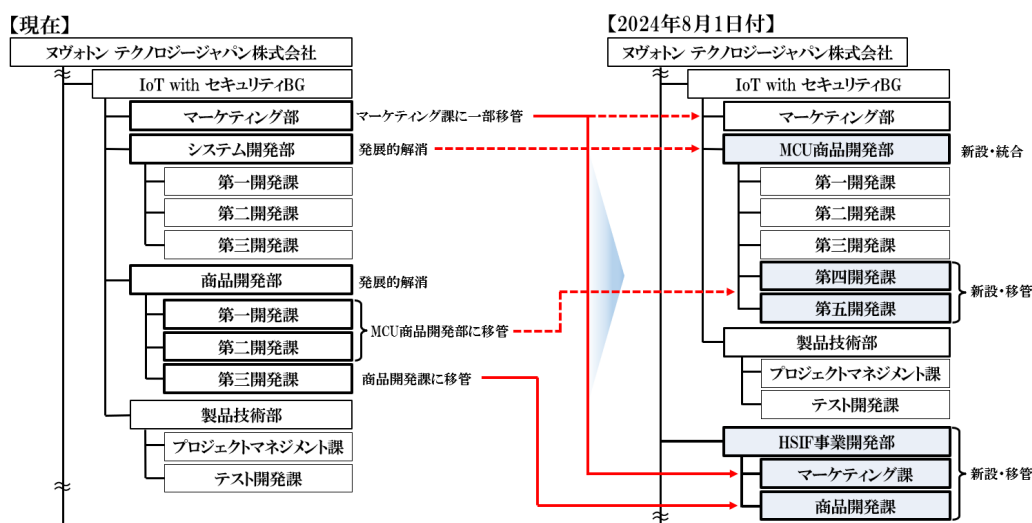
IoT with セキュリティBG(A008)のHSIF（高速インターフェース）事業の新規ビジネスを拡大するためには、プラットフォームと連携していち早く最新の商品ロードマップや技術トレンドを捕え、メインターゲット顧客である大手PCメーカーやサーバーメーカーに提案していくことが必要不可欠です。そこで、既にこれらの顧客と強いパートナーシップを形成して大きな事業成果をあげているNTCのCloud Security BG(A004)の顧客軸を最大限に活用し、急速な成長が見込まれるAI、ゲーミングPCやAIサーバー市場でのビジネス拡大に向けた挑戦を続けていくことが肝要です。

今般、NTC・NTCJグループの連携で「戦略商品・新たなビジネスの柱」として強化していくことを主眼に、HSIF事業機能をA008から分離し、A004をビジネスオーナーとした機能体制に変更します。

具体的には、NTCJ直轄傘下にHSIFの事業機能を有した「HSIF事業開発部」を新設します。「HSIF事業開発部」傘下には、マーケティング機能の一部を移管し「マーケティング課」を、A008商品開発部の第三開発課の機能を移管し「商品開発課」を新設します。

A008では、HSIF以外の商品開発機能とシステム開発機能を統合し、「MCU商品開発部」を新設します。「MCU商品開発部」傘下には、現商品開発部の第一、第二開発課を移管し、「第四、第五開発課」に名称変更します。

2. 体制図



3. 实施日 2024年8月1日

NTJ労組のスタンス

今回の組織変更は、HSIF事業をA004と一体運営することにより、A004の強みである大手顧客との強力なパートナーシップを活用し、急速な成長が見込まれる生成AI市場に向けて事業拡大を図るための施策と理解しました。

労働組合としても、NTCとNTCJの強みを活かした新たな体制でHSIF事業の拡大成長を目指すことは、今後、NTCとのシナジー創出に向けても重要な取組と考えます。しかしながら、今回の組織変更により新たな事業スキームでの運営となるため、HSIF事業開発部と新A008ならびに両組織の関連部署に影響が出ると考えます。本施策の目的を達成するためには、中長期的な視点でのマネジメントに加えて、職場視点で徹底して論議したうえで、想定される課題に対して先手を打つことが重要と考えますので、職場からの課題提起、意見提起をよろしくお願いいたします。

今後のスケジュール

